記者発表資料

平成２８年　２月２９日
東 北 地 方 整 備 局
岩 手 河 川 国 道 事 務 所

国道４号盛岡北道路が３月２６日（土)に開通します
～4 車線化により交通の流れが円滑になります～

国土交通省岩手河川国道事務所が整備を進めてきました国道４号の「盛岡北道路」が３月２６日に開通することとなりましたのでお知らせします。

「盛岡北道路」は、盛岡市厨川３丁目から滝沢市巣子までの延長３．６ｋｍの道路を２車線から４車線へ拡幅する事業です。

今回の開通により、交通環境の改善が図られ、国道４号茨島こ線橋～分レ南交差点間の慢性的な交通混雑の緩和や、安定した救急搬送ルートの確保、県主要施設へのアクセス性向上等の効果が期待されます。

○盛岡北道路の整備効果

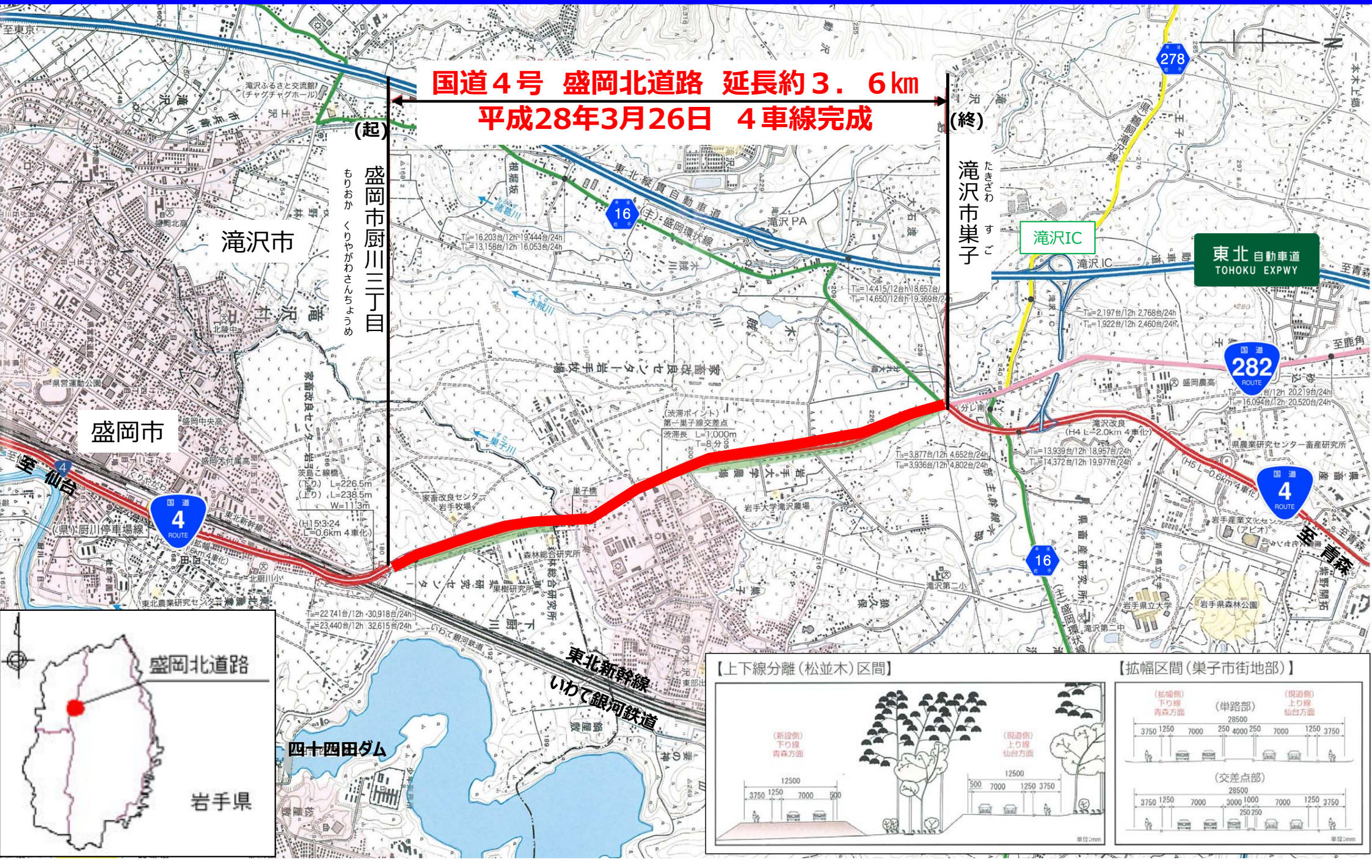
効果１：盛岡市北部地域から盛岡市中心部への交通の混雑緩和
効果２：盛岡市北部地域からの安定した救急搬送ルートを確保
効果３：盛岡市北部地域の特産品である農産物輸送を支援
効果４：災害発生時における物流拠点へのアクセスを支援
参　考：豊かな生態系を保全するためのさまざまな環境配慮

１．開通区間：国道４号　盛岡北道路
　　盛岡市厨川３丁目～滝沢市巣子　　延長３．６ｋｍ
２．開 通 日：平成２８年３月２６日（土）
３．開通式典や一般開放等の詳細については後日お知らせします。

＜発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会＞（問い合わせ先）

国土交通省　東北地方整備局　岩手河川国道事務所
TEL　０１９－６２４－３１３１
副　所　長　木越（きごし）　養一（よういち）（内線２０５）
工務第二課長　外崎（とのさき）　高広（たかひろ）（内線４１１）
【管内情報につきましては、当事務所のホームページにてご覧いただけます】
事務所ＨＰ　http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/
モバイル版　http://keitai.thr.mlit.go.jp/iwate/

国道４号 盛岡北道路


国道４号 盛岡北道路 延長約３．６km
平成28年3月26日 ４車線完成
(起)
盛岡市厨川三丁目
もりおか くりやがわさんちょうめ
(終)
滝沢市巣子
たきざわ すご
滝沢市
盛岡市
滝沢IC
東北 自動車道
TOHOKU EXPWY
至 仙台
至 青森
至東京
至鹿角
東北新幹線
いわて銀河鉄道
四十四田ダム
盛岡北道路
岩手県
【上下線分離（松並木）区間】
【拡幅区間（巣子市街地部）】

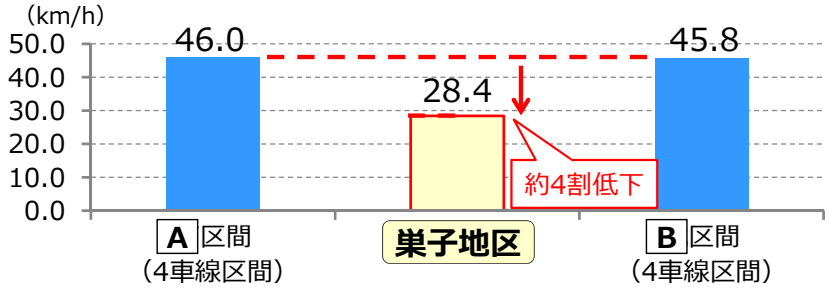
盛岡市北部地域（盛岡市玉山区、滝沢市、八幡平市、岩手町、葛巻町など）から盛岡市中心部への交通の混雑緩和

◆盛岡市街地部への交通が集中し交通混雑が発生。巣子地区は4車線区間に比べ速度が約4割低下
◆巣子地区では追突事故が多く発生し、死傷事故率も高い状況
◆４車線化による交通混雑の緩和により、走行性及び交通安全性の向上に期待

巣子交差点方面の混雑状況

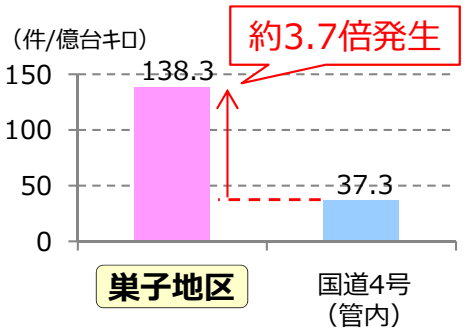


▼区間別旅行速度

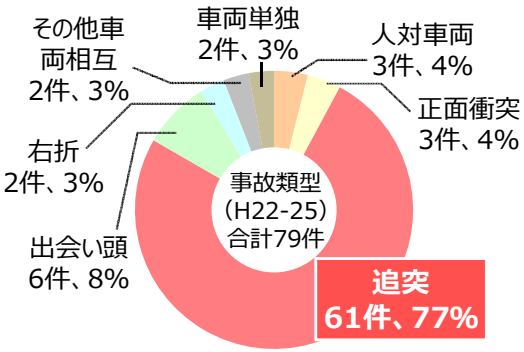


資料：民間プローブデータ（H27.4～6、平日、上下平均、7時台）
※南区間：盛岡北道路起点～厨川駅前、北区間：盛岡北道路終点～滝沢IC

▼死傷事故率（H22-H25）



▼盛岡北道路区間の事故類型



資料：H22-H25イタルダデータ

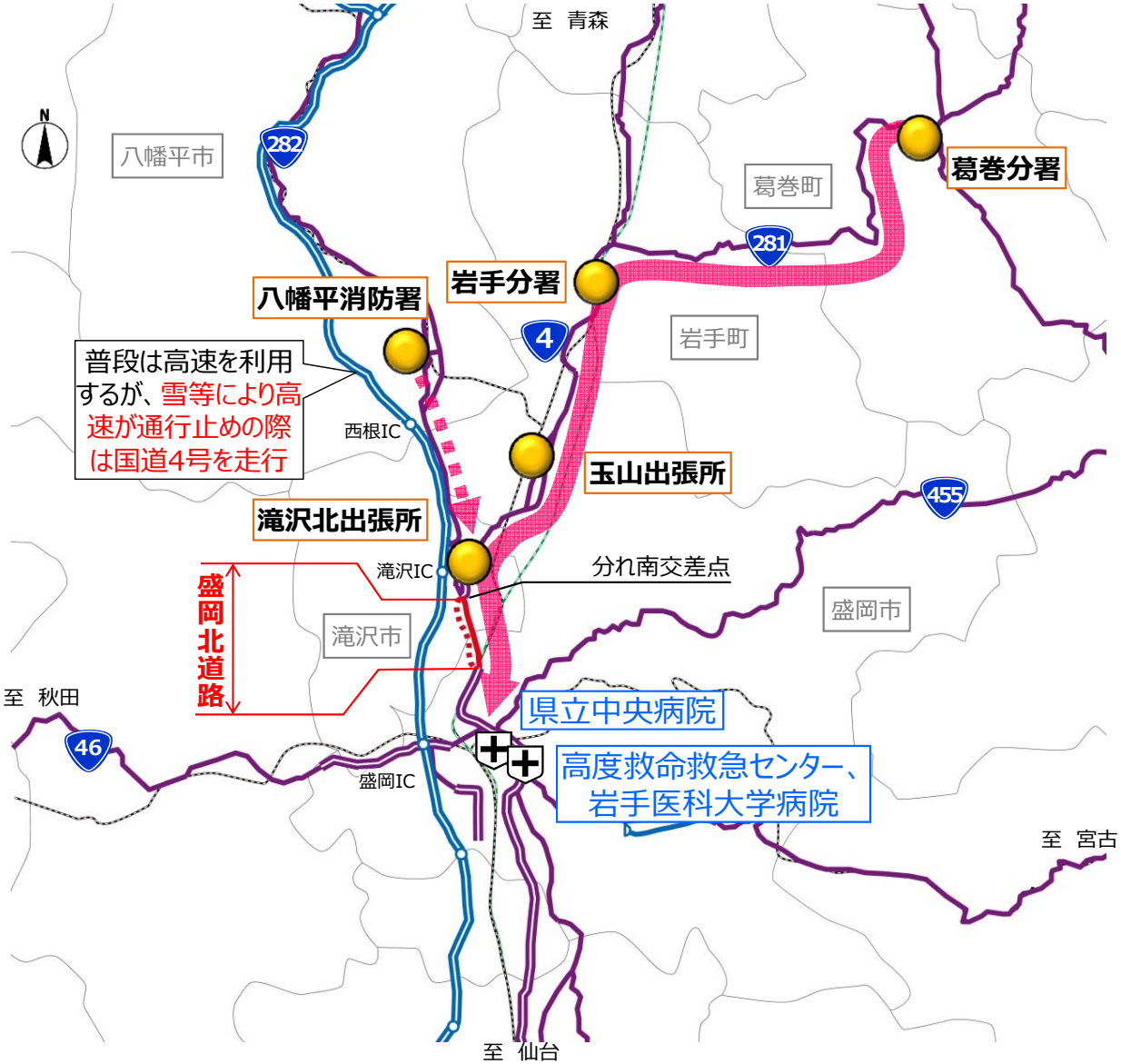
《利用者の声》

◆巣子付近は大変な時間ロスとなっている。
◆輸送・通勤で通行する。盛岡北道路の区間は短い距離ですぐ渋滞してしまうので、道路が開通するのは非常にありがたい。
◆混雑時間帯には国道4号を通らずに他の道路を通るようにしているが、速くなれば通行する。トラックで通行するため、幅員が広がれば余裕を持って通行できる。

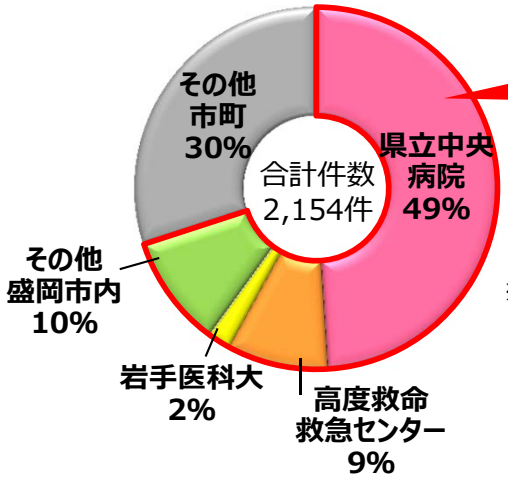
（H26.12　企業ヒアリング調査結果）

盛岡市北部地域からの安定した救急搬送ルートを確保

◆盛岡市北部地域からの救急搬送の約７割は盛岡市中心部への搬送
◆今回の４車線化により交通混雑が緩和され、盛岡市北部地域からの迅速かつ安定した救急搬送ルートを確保



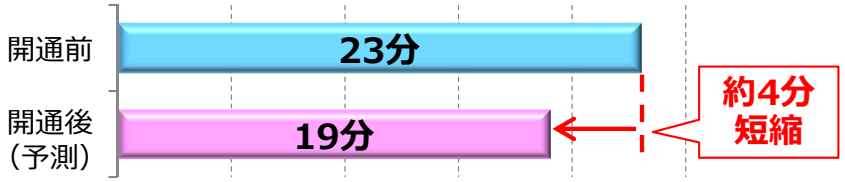
▼盛岡市北部地域からの救急搬送先内訳（H26）



※盛岡市北部地域：
葛巻分署、岩手分署、玉山出張所、滝沢北出張所、八幡平消防

資料：盛岡地区広域消防組合消防本部、H26搬送実績

▼盛岡北道路の開通による搬送時間短縮効果
（分れ南交差点～県立中央病院（上り））



算出条件：民間プローブデータ（H27.4~6、休日、上り、11時台）
開通後は盛岡北道路を50km/hとして算出

《盛岡消防本部の声》

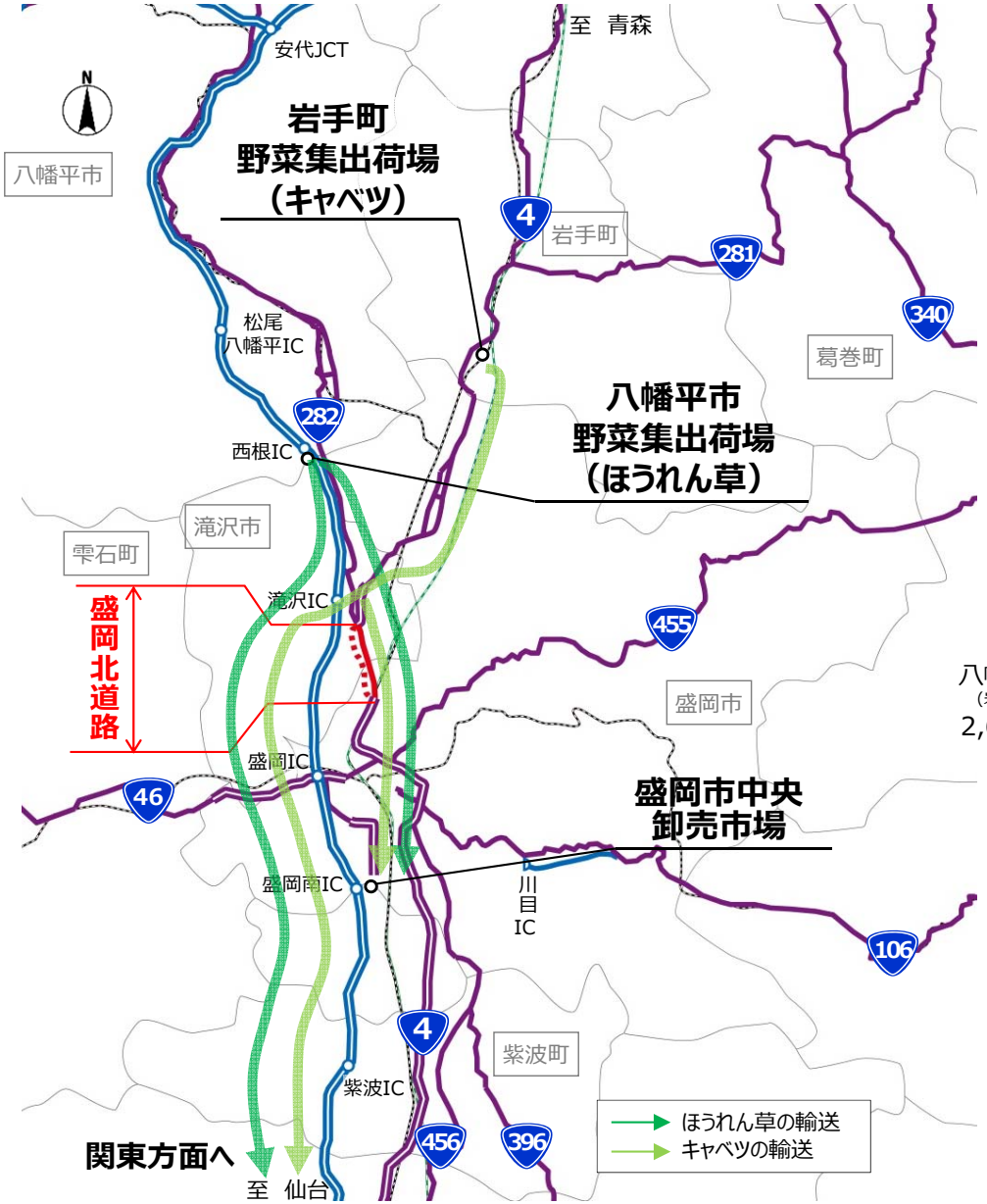
◆片側一車線であることや渋滞で動けないことが理由で、避けるスペースがなく、時間がかかる。

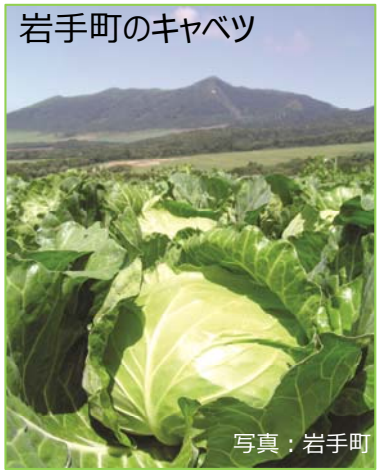
◆4車線化になると、盛岡市玉山区方面などから迅速で安定した盛岡市内への搬送が可能となる。また、消防署へ帰ってくる際の時間短縮にもなり、次の出動に備えるメリットも大きいだろう。

（H26.12、H28.2　消防ヒアリング調査結果）

盛岡市北部地域の特産品である農産物輸送を支援

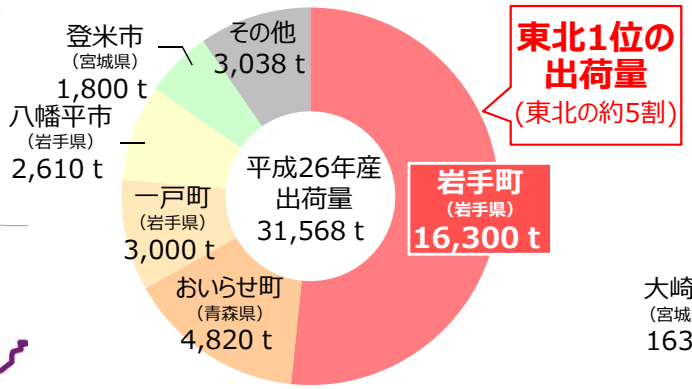
◆盛岡市北部地域の特産品のうち、出荷量で岩手町のキャベツと八幡平市のほうれん草は東北トップ
◆県内では盛岡市中央卸売市場を中心に出荷
◆４車線化による交通混雑の緩和により円滑な農産物輸送を支援



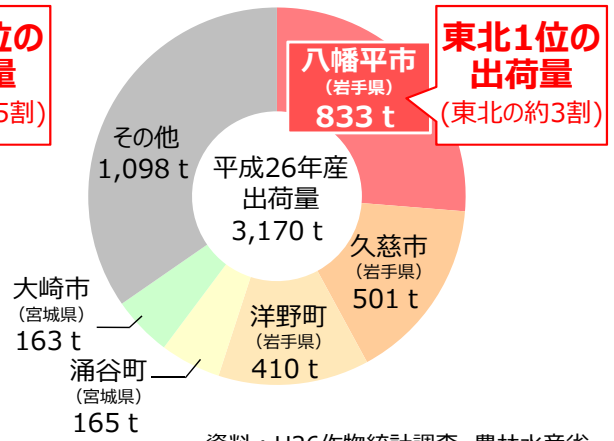




▼東北地方のキャベツの
市町村別出荷割合（H26）



▼東北地方のほうれん草の
市町村別出荷割合（H26）



資料：H26作物統計調査、農林水産省

《農業関係者の声》

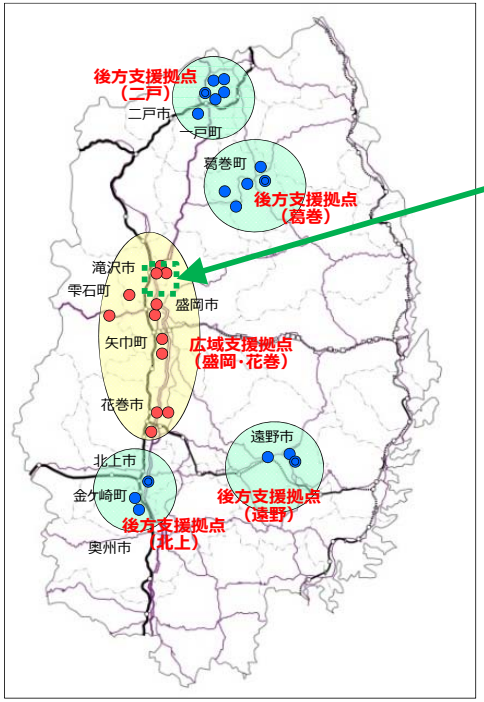
◆盛岡市中央卸売市場等へ出荷する際、盛岡北道路区間の混雑がなくなりスムーズになれば、キャベツやほうれん草等の農産品の安定輸送に期待が持てる。

（H28.1、H28.2 JA新いわてヒアリング調査結果）

災害発生時における物流拠点へのアクセスを支援

◆東日本大震災では、岩手県産業文化センター(アピオ)が県の中核的な集積拠点として機能
◆平成26年3月には岩手県広域防災拠点配置計画の広域防災拠点に選定
◆４車線化による交通混雑の緩和により、災害発生時には被災地と物流拠点間の円滑なアクセスを支援

▼岩手県広域防災拠点配置イメージ



● 広域支援拠点施設
● 後方支援拠点施設
◎ 中核施設

○１箇所の広域支援拠点エリア、
４箇所の後方支援拠点エリアを設定
・広域支援拠点
　・盛岡・花巻エリア：12施設
・後方拠点
　・二戸エリア：6施設
　・葛巻エリア：5施設
　・北上エリア：3施設
　・遠野エリア：3施設





《物流関係者の声》

◆東日本大震災では災害物流施設としてキャパシティーが高い「アピオ」を中核的な集積拠点として、約9ヶ月間緊急物資の物流管理を行った。
◆アピオは、直接トラックでの荷下ろしができ、交通アクセスも良い施設。
◆最大で約130台/日の搬入・搬出を行い、国道４号等を利用して沿岸12市町村全域へ支援物資を輸送した。

（H28.2 ヒアリング調査結果）

豊かな生態系を保全するためのさまざまな環境配慮

◆盛岡北道路の周辺には、岩手山と松並木、牧草地が織りなす雄大な景観や豊かな生態系が存在

◆今回の４車線化にあたっては、松並木の保全や、工事影響が及ぶと判断した動植物に対する保全措置、眺望景観に配慮した防雪林の造成など、地域環境の配慮に努めてきました





◆上下線分離区間

